

教科 科目名	芸術	単位数(週あたりの授業時数)		2 単位
	書道 I	履修学年(類型)	1 学年 普通科・MS科	
教科書名(出版社名)			書道 I (教育出版)	

### ●学習到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と幅広く関わる資質・能力を育成する。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5月	書の美を探る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■書写と書道の関連および違い</li> <li>■書の多様な表現方法(墨色と墨量・字形・線質・書体・書風)</li> </ul>
	6月	漢字の書(楷書)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■楷書の臨書と鑑賞</li> <li>・楷書の基本的な用筆法や字形の取り方</li> <li>○孔子廟堂碑 ○九成宮醴泉銘 ○雁塔聖教序</li> </ul>
	7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■実用の書①(硬筆検定)</li> </ul>
2	9月	漢字の書(行書)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■行書の臨書と鑑賞</li> <li>・行書の用筆法や字形の取り方</li> <li>・文字の大小・太細・抑揚の変化</li> <li>○蘭亭序 ○祭姪文稿</li> </ul>
	10月		
	11月	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> <li>■仮名の書の臨書と鑑賞</li> <li>・仮名の成立と種類 ・仮名の用筆法と字形</li> <li>○いろはうた ○連綿 ○変体仮名 ○古筆 ○散らし書き</li> </ul>
	12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■実用の書②(硬筆検定)</li> </ul>
3	1月	漢字仮名交じりの書方	<ul style="list-style-type: none"> <li>■漢字仮名交じりの書の学習</li> <li>・漢字と仮名の調和 ・古典をもとにした表現</li> <li>・字形、線質の工夫 ・文字の大きさ、全体構成、余白の生かし</li> </ul>
	2月		
	3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に基づいた表現</li> <li>・言葉と書表現の関係</li> </ul>

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	書の表現の方法や形式、多様性などについて深く理解し、効果的に表現するための技能を身に付けている。	書の伝統と文化の意味や価値を深く味わい捉え、意図に基づいて構想し、効果的な表現を工夫することができる。	主体的に粘り強く書の幅広い活動に取り組み、書を通して心豊かな生活を積極的に創造していく態度がみられる。
B	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解し、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	書の伝統と文化の意味や価値を感受し、意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書を通して心豊かな生活を創造していく態度がみられる。
C	書の表現の方法や形式についての思考が足りず、効果的に表現するための技能の習得に努力を要する。	書の伝統と文化の意味や価値の感受や、意図に基づいた構想、表現の工夫に努力を要する。	主体的な書の活動への取り組みがみられず、書を通して心豊かな生活を創造していく意欲が不足している。
評価方法	作品 学習プリント		授業の記録 授業への取り組み
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$